



広報  
西東京

やさしさ<sup>と</sup>ふれあいの<sup>西東京に</sup>暮らし<sup>まちを</sup>楽しむ

# 西東京

主な内容

- 6月11日(日)各種サービス停止…2
- 市民税・都民税納税通知書を送付…2
- 西東京市生活サポート相談窓口…3
- 予算執行状況をお知らせします…5
- ペップトーク講演会…10

No.408

平成29年(2017)

6/1

市役所代表 ☎042-464-1311 (平日午前8時30分～午後5時)

発行/西東京市

編集/企画部秘書広報課 〒188-8666 西東京市南町5-6-13

配布/シルバー人材センター ☎042-425-6611

詳細はホームページで [西東京市Web](#)

検索

市ホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

携帯電話から <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>



## いつまでもここで安心して暮らしたい

～地域包括ケアシステムを進めるために大切なこと～

“本人の選択と本人・家族の心構え”とは？



### 地域包括ケアシステムとは…

団塊の世代が75歳以上となる平成37年を目途に、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に確保される体制のこと

地域包括ケアシステムを図に表すと、左図の植木鉢のようになります。サービス支援体制の構築や住まいのこと、医療と介護の連携なども重要ですが、「本人の選択と本人・家族の心構え」が基礎になります。

現在、本市では地域包括ケアシステムを進めるために、在宅療養推進協議会を設置し、テーマごとに6つの部会に分かれて検討をしています。その中の一つ「市民との協働啓発部会」では、市民と専門職が一緒にこの植木鉢のお皿の部分、「本人の選択と本人・家族の心構え」とは何なのかなどについて、これまで話し合いを進めてきました。

地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業報告書(平成28年3月)より

平成28年に西東京市が行ったアンケート調査では、65歳以上の高齢者の約48%の方が「自宅で最期を迎えたい」と回答しています。しかし、実際には希望通りの最期を迎えていない現状があるといわれています。

部会での話し合いを深めていく中で、私たちは人生の最期に向き合うことの難しさを感じるとともに、自分の望むように暮らし続けるためには知っておかなければならないこと、覚悟しておかなければならないことがあることに気付きました。

その結果、年齢や病気の有無にかかわらず、自分はどのように生きていきたいのかを考え、語り始めることの大切さにたどりつきました。

私たちの部会では、今後はリーフレットの作成や講演会の企画などを通して、市民の皆さんと一緒に考える材料を提供していきたいと思っています。

その第1弾として、元夕張市立診療所所長による講演会を開催します。ぜひ、ご参加ください。



この記事をしっかきに私たちと一緒に考えていきませんか？

西東京市在宅療養推進協議会 市民との協働啓発部会員一同

### 講演会 最期まで幸せに暮らせる3つの条件 ～いま夕張市民に学ぶこと～

北海道夕張市は、日本一高齢化率の高い市です。財政破綻により病床数が9割減ったにもかかわらず、市民の方々は明るいきいきと元気に生活していました。

自分に、家族に、本当に必要な医療とは…。みんなで一から考えてみませんか。

時 7月22日(土)午後1時30分～4時30分

場 西東京市民会館

講 森田洋之さん(元夕張市立診療所所長 南日本ヘルスリサーチラボ代表 著書『破綻からの奇蹟～いま夕張市民から学ぶこと～』)

定 500人(申込順)

申 7月14日(金)までに、電話・ファクス・Eメール・郵送で、住所・氏名・電話番号を下記へ  
第2部では、講師の森田洋之さんと「市民との協働啓発部会員」が本音で語り合います。



◆高齢者支援課 ☎ 202-8555 市役所高齢者支援課在宅療養推進係 ☎ 042-438-4102・FAX 042-438-2827・✉ f-kourei@city.nishitokyo.lg.jp

この記事のご意見・ご感想を高齢者支援課までお寄せください。

FM放送「西東京市からののお知らせ(84.2MHz)」放送中！この面の内容は、6月1日(木)・5日(月)・14日(水)の①午後0時45分 ②午後8時から放送予定です。